

## 9月11日（土）：駒澤大会

### 09:00～10:00 会長講演

「新しい離島振興への提言」 鈴木勇次

### 10:00～12:00 研究発表

- セッションⅠ：理論・方法 座長，中俣 均（法政大）  
長嶋俊介（鹿児島大）：人口学と島嶼学一人に関わる島嶼データ蓄積・分析の課題と方法—  
前畑明美（法政大）：島嶼地域における「隔絶性の解消」
- セッションⅡ：ツーリズム 座長，野呂一仁（立正大）  
立石雅昭（新潟大）：ジオパークと世界遺産—島嶼における可能性を探る—  
松井圭介（筑波大）・齋藤譲司・上坂元紀（筑波大・院）：五島列島におけるキラシタン・ツーリズムと世界遺産運動  
須山 聡（駒澤大）・横山 慎（駒澤大・学）：鶏飯誕生—「郷土料理」のできるまで—  
遠部 慎（徳島大）：瀬戸内海島嶼部における遺跡保護活動—アースデーかがわ in 豊島を中心に—

### 13:00～17:00 研究発表

- セッションⅢ：資源・開発 座長，立石雅昭（新潟大）  
八並一寿（玉川大）・小野寺 敏（昭和薬科大）：沖永良部島と徳之島に自生するシマグワの食品機能とシマグワの可能性について  
王 智弘（東京大・研究員）：なぜ今、離島の「資源」なのか—屋久島における開発の持続可能性に関する通時的分析—  
山本宗立（鹿児島大）・松原幸子（京都大）・一木重夫（小笠原村議）・縄田栄治（京都大・院）：南西諸島・小笠原諸島のキダチトウガラシ  
高木 亨（地域開発研究所）：離島における醸造業の立地  
河合 溪・西村 知・小針 統・鳥居享司・真鍋尚也（鹿児島大）・Veitayaki, J.（南太平洋大）：フィジー諸島共和国ビチレブ島の漁村における貝類資源管理に関する経済学と生態学的視点からみた学融的研究
- セッションⅣ：生活 座長，嘉数 啓（名桜大）  
堀本雅章（法政大・沖縄文化研究所）：鳩間島における学校の役割と住民意識

古川麻理子（法政大・沖縄文化研究所）：墓地から読み解く地域性—奄美大島今里集落を事例として—

奥野一生（大和川高校）：伊豆諸島航路と就航船舶を考える

對馬秀子（埼玉医科大）：八丈島における引揚者の戦後

●セッションⅤ：ポリティックス 座長，長嶋俊介

越智正樹（京都大・院）：被占領期西表島総合開発計画の頓挫の実態と地域農政への影響

前利 潔（知名町中央公民館）：琉球処分と奄美諸島

高橋美野梨（筑波大・院）：北極利権問題の中のデンマークグリーンランド，「地理的中立」，外交的リーダーシップ—

17:00～17:50 総会

18:00～20:00 懇親会

## 9月12日（日）：三宅島シンポジウム

09:00～12:00 シンポジウム「島の未来と展望—島民とともに考える」

●基調講演

「離島発！地域再生への挑戦—最後尾から最先端へ—」山内道雄（島根県海士町・町長）

●報告

「困難から立ち上がった島々」長嶋俊介（鹿児島大）

「島が丸ごと博物館—持続可能な里海づくり—」神田 優（NPO法人黒潮実感センター）

「三宅島2000年噴火からの復興を目指しての，アカコッコ館のエコツアーリズムへの取り組み」篠木秀紀（日本野鳥の会・アカコッコ館）

「『噴火』という不利性を『観光資源』という優位性に」黒田裕治（三宅島観光協会・事務局長）

●コメント

平野祐康（東京都三宅村・村長），鈴木勇次（長崎ウエスレヤン大）

●討論

13:00～17:00 巡検